

報道関係各位

2024年8月23日  
「夢・化学-21」委員会  
公益社団法人日本化学会

## 「化学グランプリ 2024」各賞受賞者が決定！

「夢・化学-21」委員会\*と日本化学会は、8月20日(火)～22日(木)に「化学グランプリ 2024」(通称：化学の甲子園：<https://gp.csj.jp>)の二次選考を実施し、大賞および各賞の受賞者を選出いたしました。大賞を受賞した生徒は以下の5名です。

大村 陸駆 (オオムラ リク)	青森県立青森高等学校 (青森県)	3年
前川 智哉 (マエガワ トモヤ)	東京工業大学附属科学技術高等学校 (東京都)	3年
中原 光翼 (ナカハラ コウスケ)	徳島県立城ノ内中等教育学校 (徳島県)	3年
中尾 仁 (ナカオ ジン)	灘高等学校 (兵庫県)	2年
上杉 源 (ウエスギ ゲン)	筑波大学附属高等学校 (東京都)	3年

二次選考には71名が参加し、大賞5名のほか、15名が金賞、20名が銀賞、31名が銅賞に選ばれました。大賞以下、各賞の受賞者につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

化学グランプリは、全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に1999年より開催しています。化学グランプリは一次選考を7月15日に全国の会場でマークシート式試験を行い2,694名が参加し、二次選考は8月20日～22日にかけて実試験に71名が参加しました。

また本年は特別賞として以下の3賞を設け、表彰いたしました。

日本化学会特別賞 総合成績1位

大村 陸駆 (オオムラ リク) 青森県立青森高等学校 (青森県) 3年

「夢・化学-21」委員会特別賞 二次選考成績1位

中尾 仁 (ナカオ ジン) 灘高等学校 (兵庫県) 2年

秋田大学学長賞 高校2年生以下総合成績1位

下尾 健祐 (シモオ ケンスケ) 久留米大学附設高等学校 (福岡県) 2年

### ◆国際化学オリンピックへの生徒派遣について

世界約80ヶ国・地域の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』の日本代表は、化学グランプリで優秀な成績を収めた生徒を中心に選出されます。来年7月の第57回『国際化学オリンピック』はアラブ首長国連邦での開催が予定されています。今年も国際大会に向けて、本グランプリに参加した中学3年生・高校1・2年生の生徒から20名程度を代表候補生徒として認定し、代表候補生徒全体の中から、選抜試験を経て代表生徒を決定する予定です。

\*「夢・化学-21」委員会は公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

#### お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会 : 大倉、日置 TEL 080-7398-0468 [grand-prix@chemistry.or.jp](mailto:grand-prix@chemistry.or.jp)  
一般社団法人日本化学工業協会 : 羽方 TEL 03-3297-2555

<参考資料>

各賞受賞者

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
大賞 5名	大村 陸駆	オオムラ リク	青森県	青森県立青森高等学校	3年
	前川 智哉	マエガワ トモヤ	東京都	東京工業大学附属科学技術高等学	3年
	中原 光翼	ナカハラ コウスケ	徳島県	徳島県立城ノ内中等教育学校	3年
	中尾 仁	ナカオ ジン	兵庫県	灘高等学校	2年
	上杉 源	ウエスギ ゲン	東京都	筑波大学附属高等学校	3年
金賞 15名	相澤 誠宏	アイザワ マサヒロ	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	3年
	池田 直矢	イケダ ナオヤ	神奈川県	神奈川県立相模原中等教育学校	3年
	久留島 あかり	クルシマ アカリ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	佐藤 優貴子	サトウ ユキコ	神奈川県	フェリス女学院高等学校	3年
	佐野 友哉	サノ ユウヤ	京都府	洛南高等学校	3年
	下尾 健祐	シモオ ケンスケ	福岡県	久留米大学附設高等学校	2年
	田中 泳州	タナカ エイシュウ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	千葉 真之介	チバ シンノスケ	神奈川県	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	3年
	中谷 直太郎	ナカタニ ナオタロウ	東京都	麻布高等学校	3年
	花園 莉子	ハナヅノ リコ	千葉県	東邦大学付属東邦高等学校	3年
	古川 美乃里	フルカワ ミノリ	東京都	桜蔭高等学校	3年
	松本 佑	マツモト ユウ	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	3年
	水島 莉理	ミズシマ リリ	北海道	立命館慶祥高等学校	3年
	武川 桜太郎	ムカワ オウタロウ	石川県	金沢大学附属高等学校	3年
	山中 秀仁	ヤマナカ ヒデト	神奈川県	栄光学園高等学校	3年
銀賞 20名	荒川 琉都	アラカワ リュウト	埼玉県	埼玉県立大宮高等学校	3年
	伊良部 真紘	イラブ マオ	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	3年
	大塚 丈雅	オオツカ タケマサ	大阪府	大阪府立富田林高等学校	3年
	小川 璃久	オガワ リク	兵庫県	灘高等学校	3年
	加藤 弘起	カトウ コウキ	広島県	広島大学附属高等学校	3年
	佐藤 伸	サトウ シン	埼玉県	さいたま市立浦和高等学校	3年
	佐藤 裕真	サトウ ユウマ	埼玉県	埼玉県立越谷北高等学校	3年
	土田 陽智	ツチダ アサト	石川県	金沢大学附属高等学校	3年
	西田 竹宏	ニシダ タケヒロ	奈良県	東大寺学園高等学校	3年
	藤野 大基	フジノ タイキ	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	3年
	真壁 啓太	マカベ ケイタ	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	3年
	三浦 詢世	ミウラ ジュンセイ	東京都	麻布高等学校	3年
	溝内 琉太	ミゾウチ リュウタ	東京都	開成高等学校	2年
	宮原 大豪	ミヤハラ ダイゴ	奈良県	西大和学園高等学校	3年
	武藤 駿佑	ムトウ シュンスケ	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	3年
	山内 みくに	ヤマウチ ミクニ	東京都	田園調布雙葉高等学校	3年
	山口 望	ヤマグチ ノゾミ	栃木県	作新学院高等学校	3年
	山下 裕佳	ヤマシタ ユカ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	山野 朔弥	ヤマノ サクヤ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	渡邊 周平	ワタナベ シュウヘイ	奈良県	奈良工業高等専門学校	2年

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
銅賞 31名	東 彦宏	アズマ ヒコヒロ	兵庫県	灘高等学校	1年
	天野 春翔	アマノ ハルト	東京都	麻布高等学校	2年
	池谷 新	イケノヤ アラタ	東京都	芝高等学校	3年
	稲野邊 城司	イナノベ ジョウジ	神奈川県	聖光学院高等学校	3年
	今井 樹志	イマイ ミキザネ	埼玉県	大宮開成高等学校	3年
	扇澤 拓久	オウギサワ ヒラク	東京都	広尾学園高等学校	3年
	大隅 友晴	オオスミ トモハル	鹿児島県	ラ・サール高等学校	3年
	岡添 皇樹	オカゾエ コウキ	兵庫県	灘高等学校	1年
	尾高 徹	オタカ トオル	千葉県	千葉県立船橋高等学校	3年
	加藤 学	カトウ ガク	東京都	武蔵高等学校	1年
	狩野 駿斗	カリノ ハヤト	宮城県	宮城県仙台二華高等学校	3年
	幸地 良依	コウチ ライ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	平 圭祐	タイラ ケイスケ	東京都	東京都立武蔵高等学校	3年
	田中 碧斗	タナカ アイト	兵庫県	白陵高等学校	3年
	田中 捷登	タナカ ハヤト	神奈川県	聖光学院高等学校	3年
	田中 博登	タナカ ヒロト	愛知県	愛知県立旭丘高等学校	3年
	田辺 峻望	タナベ シュンボウ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年
	田主 凌一郎	タヌシ リョウイチロウ	岡山県	岡山県立倉敷天城高等学校	3年
	徳重 桜汰	トクシゲ オウタ	東京都	東京都立日比谷高等学校	3年
	橋本 准弥	ハシモト ジュンヤ	東京都	麻布高等学校	3年
	林 恭永	ハヤシ タカハル	神奈川県	聖光学院高等学校	3年
	福吉 陽太	フクヨシ ハルタ	静岡県	静岡県立藤枝東高等学校	3年
	宝田 怜弥	ホウダ トキヤ	京都府	京都市立春日丘中学校	2年
	松井 大輝	マツイ ダイキ	神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	2年
	水野 敬介	ミズノ ケイスケ	東京都	海城高等学校	3年
	村松 周	ムラマツ アマネ	東京都	麻布高等学校	3年
	柳田 倭太	ヤナギダ コウタ	大阪府	高槻高等学校	3年
	山本 啓太	ヤマモト ケイタ	東京都	麻布高等学校	3年
	米倉 瑛翔	ヨネクラ エイト	神奈川県	栄光学園高等学校	2年
	力石 瑞樹	リキイシ ミズキ	神奈川県	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	3年
	厲 夏	レイ カ	東京都	桜蔭高等学校	3年

## ◆国際化学オリンピック IChO=International Chemistry Olympiad)

1968年に東欧3カ国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。

大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験課題と理論問題が出題され個人単位で競われます。成績優秀者には金メダル（参加者の1割）、銀メダル（同2割）、銅メダル（同3割）がそれぞれ贈られます。

日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から毎年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。

2010年に国際化学オリンピックを日本・東京で初めて開催し、2021年に日本で2回目の国際化学オリンピックを開催しました。

## ◆「夢・化学-21」委員会について

「夢・化学-21」委員会\*は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。化学グランプリのほか、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知ってもらうため「子ども化学実験ショー」や、「なぜなに？かがく実験教室」などの実験体験活動などを行っています。

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

「夢・化学-21」ウェブサイト <https://www.kagaku21.net>